



夢・風・海 2022

海光る町学園小佐々中学校
学校だより
(令和4年4月3号)
文責 校長 田雑 健
令和4年4月22日(金)発行

小佐々中校訓 : 「英知 信愛 活力」

望ましい生徒像 : 英知:自ら進んで学ぶ生徒 信愛:心豊かな生徒 活力:健康でたくましい生徒

うれしいばかりじゃ・・・



来週4月29日(金)は「昭和の日」。いよいよ大型連休が始まろうとしています。

例年、連休の前にみなさんにはいろいろな注意事項や心がけてほしいことを伝えていますが、その中でも特に ① けじめのある生活 ② 規則正しい学習習慣の維持と向上 の2点は計画的に取り組むことが可能な事柄です。言い換えると自分の気持ち次第で十分実行できるし、成果を残すことができます。

第1に、「けじめのある生活」をおくっていないと連休明けに「だるい」とか「やる気がおきない」ということにつながります。ここでも基本は「早寝・早起き・朝ご飯」です。連休明けは運動会の練習が続きます。この連休で体調を崩さないように注意しましょう。



第2の「規則正しい学習習慣の維持と向上」のためには、ある程度まとまった時間をとったほうが効果的です。授業の予習をしなくていい、今回の連休中は大きなチャンスです。まだ、定期テストに間があるこの時期にこそ頑張って自分の弱点や遅れている部分を克服しましょう。

以上、連休前にちょっとやかましいことを書きましたが、結局は「成果を得たければ、それなりの努力が必要だ」ということです。

せっかくの連休です。やるべきことをやって、そのうえで使える時間を使って、心も体もリフレッシュしましょう。でも、危険な行為は×ですよ。

引き続き 春バテに注意

今週初めから部活動終了時刻を18:30としました。大型連休も近づき、各種大会も開催される時期となってきたので、練習時間を確保することが目的です。一方、本校は部活動加入を義務付けていませんので、帰りの会終了後、即下校するという人もいます。

まあ、人それぞれでよいのですが、気を付けたのが前号でも紹介した「春バテ」です。最近では「4月病」と呼ばれたりもするそうです。授業も本格スタートし、運動会への取組も始まりました。そして部活動も時間延長ということで、張り切ったのはいいけれど、気持ちに体がついて行かず、エネルギー切れを起こすということは珍しいことではありません。



「がんばるぞ!」という気持ちは尊いものですが、がんばりすぎはかえって心と体に大きな負荷をかけてしまいます。これからの大型連休なども使って、心と体をちょっとゆっくりさせましょう。

こちらも引き続き 感染症対策

3月末から4月、新型コロナウイルス感染症については厳しい状況が続いています。私たちも油断は禁物です。マスク着用、手指消毒、3密の回避といった基本的なことは変わりませんから、その点を忘れずにしっかりやっていきましょう。何事にも健康第一です。



「182」って何？

まるで子供向けのクイズのようなタイトルになりましたが、実は「182」とは「年間提供する給食数」言い換えると「給食を提供できる日数」を意味しています。

昨年度までは、学校から給食センターにお願いをして、給食提供数、イコール給食実施の日数を決めることができました。特にここ2年ほどは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校外での行事を中止・縮小したため、学校で食事を摂ることも多く、令和3年度で最大188食(=188日給食実施)を配食しました。

しかし、今年度から給食費の公会計化により佐世保市全体として提供できる給食数の上限が182食と定められました。今後、行事などの様子を見ながら、年間で調整して最大182食に収めなければならないということです。

そのため、状況によっては「お弁当の日」を設定し、ご家庭にお願いすることが出てくるかと思えます。お手数をかけますが、どうかご理解、ご協力をお願いいたします。



行事の実施について

新型コロナウイルス感染拡大防止については、今なお油断できない状況にあることはみなさんご承知のとおりです。

来週27日(水)には授業参観・懇談会(同日PTA総会も)、来月5月15日には運動会が控えております。その他の行事・活動についても現段階では、出来る限りの予防策をとったうえで、実施したいと考えておりますが、感染状況を注視しながら実施、規模縮小あるいは中止といった判断をせざるをえず、みなさまがたにご不便をおかけすることがあるかと思われまます。重ねてご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

今年度の指針として

例年のことではありますが、「今年度の指針」として、以下の3点について年間を通して話し続けていこうと思っています。

1つめが「自分の立場・役割を意識して行動すること」です。3年生は「小佐々中学校の顔」として学校を常に代表する立場になります。2年生は「中堅学年」として3年生から様々なことを受け継ぐとともに、1年生を導いていく立場になります。1年生については、まず「学ぶ」ことから始まり、2学期以降は「学んだことを実践する」立場になります。立場によって、為すべき役割が生まれてきます。それぞれの学年に期待されている立場・役割を自覚して、積極的に取り組むことで、さらに大きな成長につなげてほしいと思います。

2つめは「広い心と甘えない強さを養うこと」です。学級、学年、そして学校全体が高め合う集団として力を付けていくためには、「広い心」と「甘えない強さ」が必要です。人は人として平等ですが、同時に様々な違いがあることも事実です。得意・不得意、上手・下手、好きなこと嫌いなこと。そういった自分との違いについては「広い心」で受け止める。一方で自分の苦手なことや嫌いなことから逃げず、マナーを尊重しルールを守るといった「甘えない強さ」をもつ。この2つを養うことで、高め合う集団づくりにつなげてほしいと願っています。

3つめは、「計画的に物事に取り組むこと」です。特に3年生にとっては、中学校卒業に向けて、進路決定に向けてのカウントダウンが本格的に始まります。何をどこまで、どのようにがんばっていくか。計画をしっかり立てて取り組んでいくことが大切です。そして、折に触れ現状を振り返り、調整・改善をしながら活動を続けて、目標達成に向かってほしいと思います。

以上、「今年度の指針」として、学校生活の節目で繰り返し話をしていきたいと思っています。